

(別記第3号様式)

## 根室市市民意見公募手続（パブリックコメント）実施結果公表

令和元年 9月 9日

市民の皆さんからいただいたご意見、これに対する市の考え方などを取りまとめましたので公表します。

施策等の名称	根室市観光振興計画（案）		
実施期間	令和元年7月25日～8月23日		
意見の件数	3件（1個人、1団体）		
意見の取扱い	修正	案を修正するもの	件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	件
	参考	今後の参考とするもの	3件
	その他	意見として伺ったもの	件
意見の受け取り	郵送		人
	ファクシミリ		1団体
	電子メール		1個人
	直接持参		人

### 【意見等の内容】

件数	意見の内容	意見に対する市の考え方（修正した場合は、その内容と理由）
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;">別紙のとおり</div>	

(別紙)

根室市観光振興計画（案）についての意見募集結果

No.	意見の概要	取扱い	意見に対する根室市の考え方
1	<p>「グルメ」「日本で一番○○の●●」は日本中どこにでもあふれていますが、世界のバードウォッチャーが憧れるビッグ3が一カ所で見られるのは根室市だけです。世界のバードウォッチングの聖地になれるポテンシャルを持っているにも関わらず、市民に知られていませんし、迎える体制もできていません。喫緊に必要なのは、「英語に堪能なガイドの確保」です。人員の確保のために、高校生、大学生対象に市費で英国留学を補助してはいかがでしょうか。（ガイド訓練を受け、根室市に就職、ガイド会社を起業するなら返済免除）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・英語に堪能な職員の確保も必要かと思えます。</li><li>・旅館の個室シャワー改築の補助（海外バードウォッチャー対応）</li><li>・イギリスへの職員派遣（英富裕層の別荘地として宣伝）</li><li>・観光タクシーの規制緩和対策も必要かと思えます。</li></ul> <p>バードウォッチャーはハイクラスな人たちなのでトラブルも少なく、いわゆる「上客」と言われます。大きな箱ものはいらないので、今ある施設を使い、人材を育て、無理のない範囲でバードウォッチングビジネスを展開できればいいと思います。</p>	参考	<p>当市では以前、バードウォッチング発祥の地であるイギリスで開催される世界最大のバードウォッチング見本市「英国バードフェア」に出展したことがあり、さらには「ねむろバードランドフェスティバル」の開催など、野鳥観察を目的とした観光客の国内外からの誘致を通して、世界のバードウォッチャーに注目される地域となったものと考えております。そのような中、受入れ環境の整備につきましては、本計画でもガイド業種などの専門職の育成等が課題としてあげられております。今後におきましてもバードウォッチャーを含めたインバウンドの増加が見込まれますことから、いただきました様々な取り組みのご意見を参考にさせていただき、事業を進めるうえで検討していきたいと考えております。</p>
2	<p>根室湾を日・露・米の歴史の夜明けエリアに！！</p> <p>根室観光と言えば、花咲かにや秋刀魚などの豊かな海産物をメインとした「食」目的の観光や、野鳥の聖地として認知されつつあるバードウォッチングの冬季観光が定着しつつある。</p> <p>また、北海道の中でも歴史のある根室で、チャシ跡群を巡るツアーもこのところ増えつつあるが、市内には滞在しない「通過型」のツアーも少なくない。</p> <p>根室は国内においても海外との関わりにおいて歴史がある地域である。オホーツク文化遺跡のある弁天島を目の前に、ラクスマン来航、リンドバーグ太平洋横断時の着水地である根室湾（港）が最適と思う。ビザ無し渡航の際に、プレハブの待合所を設置するが、旅行者も渡航者も通年利用できる施設で、根室湾に関わる歴史を伝える資料等の展示場所や物販場所を併設出来れば、金刀比羅神社も含め根室観光の拠点にもなる場所となる。数ある歴史の中でも認知度を上げたいロマンを感じる以下の歴史を体現して頂きたく提案させていただきます。</p>	参考	<p>市といたしましては、根室市の様々な特色のある歴史を観光資源として活用し、観光の魅力づくりの取り組みを進めることとしております。いただきましたご意見の中の「⑤日本館・ロシア館」は、本計画では北方領土に隣接するという地理的条件や、四島在住ロシア人との交流など、他にはない地域特性を活かしたマルシェ（市場）開設等の取り組みに近いものと考えておりますが、いただきました様々な取り組みのご意見を参考にさせていただき、事業を進めるうえで検討していきたいと考えております。</p>

No.	意見の概要	取扱い	意見に対する根室市の考え方
	<p>①ラクスマン来航と大黒屋光太夫との関わり日本最初の日ロ関係根室湾での8か月の滞在などは浦賀のペリー来航に匹敵する歴史的な出来事である。経費を考えず提案しますがエカテリーナ号の模造船を根室港に停泊させ船内を大黒屋光太夫・ラクスマン資料館とする。</p> <p>②リンドバーグの太平洋横断の寄港地（着水地）をPR 落石無線局も含め、リンドバーグ横断の寄港地を根室港で紹介する。水上飛行機を港に浮かべ視覚的にも史実が見えるようにする。</p> <p>③高田屋嘉兵衛の金刀比羅神社 高田屋嘉兵衛と根室・北方領土の繋がり歴史、ゴローニンとの関わりも神社が見える根室港で資料展示をするスペースがあれば分かりやすいと思う。又は、根室港と金刀比羅神社のアクセスをスムーズに。</p> <p>④オホーツク文化の弁天島貝塚堅穴群遺跡 オホーツク文化もアイヌチャシ跡群と並び、根室の歴史的資産であると思う。上記3項と同様、弁天島に上陸出来なくても、目前の島の資料や模型が展示できれば素晴らしい資料館となる。</p> <p>⑤日本館・ロシア館 ロシア館ではロシアの土産物やロシア風の料理を食べられる場所、日本館は根室の土産物と根室の料理（例えば漁協婦人部の料理）が食べられる場所の提供をし、観光の休憩（昼食）の拠点とする。 滞在型観光を考えるのならトップシーズンやビザなし交流用の簡易宿泊施設の併設を考えても良いと思う。 ※箱モノの建設は一昔前の考え方ではあるが、北方領土の拠点も含め通年利用可能な設備は必要と考えます。経費度外視の考え方ですが市民の意見として提案させていただきます。</p>		
3	<p>落石地区のPR提案 数年前から旅の目的の категория に「インスタ映え」「レアな発見」「秘境スポット」「一度は行ってみたい場所」等、「個」の旅を意識したものが増えつつある。団体から個人へ旅の形態は変わり、メジャーな場所よりもレアな場所で貴重な体験を求める旅行が新たな形として成立していると考えます。 旅行雑誌にも掲載されていないがインスタグラム等で話題となって旅人が訪れる場所。根室にはそのような場所がたくさんある。「滞在型」を滞在日数を増やす事だけにとらわれず、立ち寄る場所を増やし滞在時間を延ばすことも大切であると考えます。 根室の自然や歴史、そして景観の category は世界に誇れるものであ</p>	参考	<p>本計画においては、本市が誇る類い稀な自然環境をはじめ、JR花咲線の車窓などからの「絶景」を観光資源として活用することとしておりますが、特に「落石地区」は、根室十景の中の「落石岬」、「浜松海岸」、「長節湖」を有する風光明媚な景勝地を有し、漁船による海鳥観察ができる「落石ネイチャークルーズ」など、豊かな自然に恵まれた地区であると認識しております。今後におきましても、自然環境の保全にも配慮しつつ、落石地区の豊かな自然を観光資源として利用する中で、いただきました様々な取り組みのご意見を参考にさせていただき、事業を進めるうえで検討していきたいと考えております。 なお、「落石地区浜の母ちゃん味自慢！穴場マップ」は、当地区が主体となり、一体となった取り組みを進める必要があると考えておりますの</p>

No.	意見の概要	取扱い	意見に対する根室市の考え方
	<p>る。そのカテゴリー「根室」をもう少し分類した時に「落石」はまだ知られていない魅力がたくさんある。幻想的な「ユルリ島と落石地区」の自然や歴史を求める旅の提案は、新たな客層の開拓につながると思う。直接見ることのできない幻の島「ユルリ」。そこに生息する花や鳥や馬。歴史的・文化的にも価値ある馬達を2011年度より撮り続けている岡田敦氏の映像や写真を通して、その魅力を落石地区から発信する。旧落石無線局から、根室の風土を生かした版画作品を世界に発信している池田良二氏。氏の作品を展示する施設も立ち寄る場とする。落石岬に通ずるリンドバーグの太平洋横断に貢献した落石無線局跡も活用の余地がある。</p> <p>ユルリ島・旧落石無線局、花咲線、落石漁協、落石ネイチャークルーズ、TVロケの食堂、浜の母ちゃん、北太平洋シーサイドライン等々のネットワーク活動を通し、根室の行政と地域住民が協力して知恵を出し合い、自然を守り、根室エリアの地域振興を観光へ繋げるために落石地区の魅力を見直す。</p> <p>さらに、地元住民との触れ合いも旅の重要なカテゴリーと考えるので以下のようなことも考える。</p> <p>例：落石地区浜の母ちゃん味自慢！穴場マップ</p> <p>落石漁協や漁協婦人部、保健所の許可等は別として、例えば落石地区の長節地区、昆布盛地区、浜松地区、落石地区の家庭での自慢料理（佃煮や鮭トバ、昆布製品等）を家の入口に手作りの看板を設置し量り売り販売をしてもらう。販売はその日その日の出来る量。売買でお客様と地元の「浜の母ちゃん」との会話も旅の楽しみの一つで、小さな出会いがSNS発信で漁協の宣伝とつながる。落石地区に限らず、歯舞地区や湾中でも可能。出来れば手作り感あふれるマップを作成したい。</p> <p>また、景観のPRとして北太平洋シーサイドラインはこの地域にしかない素晴らしい景観なので、JR花咲線利用も含め浜中町、厚岸町、釧路町との沿線連携は欠かせないと考える</p>		<p>で、落石漁協など関係団体にお伝えしたいと考えております。</p>